

KT-3200_mlrs ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
 点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
 本キットは以下の車種に対応します。
 ・近鉄3200系対応
 本キットは、トレーラー車専用です。
 動力ユニット付き車に使用すると、チラツキ対策を施していないため、前進時にテールライトが、後進時にヘッドライトが、チラチラと点灯してしまいます。

！ 注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
 このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】

- ・ヘッドライトユニット(兼前面幕ユニット) : 1個/セット
- ・テールライトユニット(兼通過標識灯ユニット) : 1個/セット
- ・前面幕用プラ板(白, 0.3mm, ケガキ済み) : 1個/セット

【その他】

- ・説明書(本紙) : 1枚
- ・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱

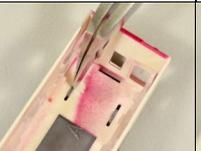
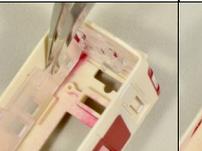
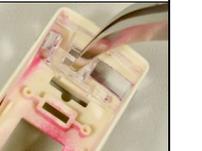
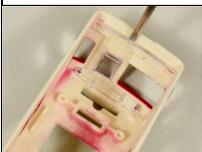
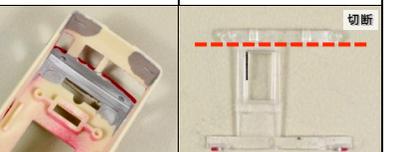
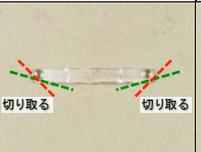
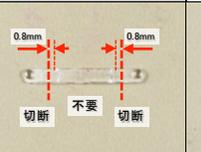
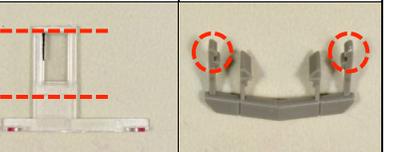
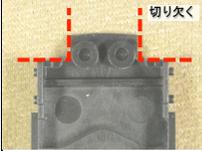
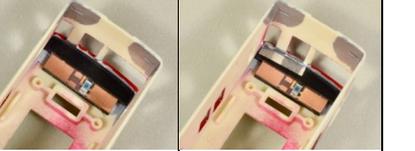
※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
 ※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

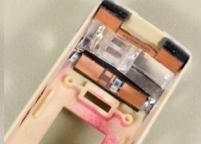
【必要な工具】

- ・カッターマット
- ・ピンセット
- ・ニッパ
- ・プラスチックドライバー
- ・両面テープ
- ・木工ボンド
- ・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラピー」など)
- ・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
- ・楊枝、綿棒など
- ・ピンバイス(0.3mm, 0.5mm, 0.8mm, 1.0mm)
- ・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
- ・ゴム系接着剤
- ・プラモデル用接着剤
- ・直定規
- ・塗装面を保護する柔らかい布
- ・ポンチ(プッシュピンなどでも可)
- ・サンドペーパー
- ・マスキングテープ
- ・瞬間接着剤
- ・遮光用の塗料(黒または銀)

● 取り付け手順

※網かけの項目は、前面幕を点灯させる場合に必要な項目です。

| 1. 分解する | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1-1 床板を外す | 1-2 屋根を外す | 1-3 運転室仕切りを外す | 1-4 側窓を外す | 1-5 前面窓を外す |
|  |  |  |  |  |
| 車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。 | 連結側面から、天井面サイドのツメを楊枝などで押して、屋根を外します。 | 天井上のツメを楊枝などで押して、運転室仕切りを外します。 | 側窓を外します。 | 前面窓を、貫通路部分のU字形の部分の内側に引いて、外します。 |
| 2. 車体を加工する | | | | |
| 1-6 前面透明パーツを外す | 2-1 前面幕を加工する(前面幕を点灯させる場合) | 2-2 ボディ内側を遮光する | 2-3 前面透明パーツの加工 | |
|  |  |  |  | |
| 前面透明パーツを、ボディとの隙間に精密ドライバーなどでこじって外します。 | 前面幕部分に穴を開けます。線の丸みのある部分、マルーンの塗装部分に傷をつけないように注意します。 | 付属のケガキ済みの白プラ板から前面幕を作ります。ヤスリなどでピタリはまるように調整します。完成したら一旦外しておきます。 | ヘッドライト周辺及びテールライト周辺のボディ内側及びレンズの穴の中を、銀の塗料(エナメルを推奨)で塗装し遮光します。 | |
| 2-4 ヘッドライトレンズを加工する① | | 2-5 ヘッドライトレンズの加工② | 2-6 貫通路窓を加工する | 2-7 スカートを加工する |
|  |  |  |  | |
| ヘッドライトレンズ裏側の2ヶ所のリブを切り取ります。 | ヘッドライトレンズの下辺(余白の広い方)を加工します。まず両端を45度(赤)に切り取り、次にレンズの下側を30度程度(緑)に切り取ります。 | 前面幕を点灯させる場合、レンズの横梁の中央部分が不要です。前々項で切り取ったリブの外側0.8mmの箇所を切断します。 | 貫通路窓の直上及び、テールライトレンズとの中間の丸印の下側で切断します。 | スカート面サイドのツメを、下側の半丸の突起の直下で切断します。スカートは中央のツメで固定し、ゴム系接着剤で補強します。 |
| 3. 床板を加工する | | 4. ライトユニットを取り付ける | | |
| 4-1 前面幕を取り付ける | 4-2 ヘッドライトレンズの取付 | 4-3 ヘッドライトユニットの取付 | 4-4 ヘッドライトユニット周辺の遮光 | |
|  |  |  |  | |
| 床板前端の両サイドを切り取ります。 | 前面幕を点灯させる場合、2-1で一旦外した白プラ板を戻し、瞬間接着剤・木工ボンドなどで固定します。前面幕のシールを貼ります。 | ヘッドライトレンズは、上下を逆にして、2-4で切り取った部分が屋根根柢木方向はダミーカブラーの取付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り取ります。 | ヘッドライトユニットをはめ、両面テープで固定します。点灯試験を行い、ヘッドライトレンズとLEDの光軸が合っていることを確認します。ズれている場合は、ヘッドライトユニットの黒い台座を削るなどで調整します。 | |

| | | | | 5. 配線する |
|--|---|---|--|---|
| (4-4つづき) | 4-5 貫通路窓をはめる | 4-6 前面窓をはめる | 4-7 テールライトユニットの取付 | 5-1 側窓の凸部にアルミテープを貼る |
|  |  |  |  |  |
| 3mm × 6mmのポリエステルテープを2枚用意し、ヘッドライトユニットのツバと側面の間に貼ります。後ろ側の天井方向に折り曲げる部分では、テープの側面に切れ込みを入れます。 | 貫通路窓をはめ、両面テープで固定します。 | 前面窓をはめます。 | テールライトユニットをはめ、両面テープで固定します。 | 5mm × 7mmのアルミテープを4本用意します。 側窓の内側・両端、ボディとの嵌合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリブとリブを結ぶ線に当たるようにします。 |
| (5-1つづき) | 5-2 側窓下にアルミテープを貼る | 5-3 側窓をはめる | 5-4 ヘッドライトユニットに配線する | |
|  |  |  |  |  |
| はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。綿棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。両側の側窓の両端、計4箇所凸部に貼ります。 | 3mm × 108mmのアルミテープを2本用意します。 側窓の両端の凸部をつなくように、テープを貼ります。 両側の側窓に貼ります。 | 側窓をはめ、両面テープで固定します。 | 1.0mm × 約25mmのアルミテープで、ヘッドライトユニットの給電パッドから側窓下へ配線します。側窓のリブを避けながら貼ります。余ったテープは切り捨てます。 ※必ず1.0mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。 | ヘッドライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3mm × 4.5mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。 |

| | | | 6. 仕上げ |
|--|--|--|---|
| 5-5 テールライトユニットに配線する | 5-6 側窓下を結ぶ | | |
|  |  |  |  |
| 1.5mm × 9mmのアルミテープで、テールライトユニットの給電パッドから側窓下へ配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。 | テールライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、幅4mm × 高さ4.5mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。 | 3mm × 17mmのアルミテープを使って、側窓下のアルミテープとヘッドライト、テールライトの配線を覆うように貼り、3者を接合します。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。 | 運転室仕切り、屋根を戻して完成です。 |

